手芸倶楽部新聞

2014年
12月9日号
第21号

特別養護老人ホーム　東かなまち桜園

第二十一回を迎え、丁度、活動開始から一年がたった手芸倶楽部。最初は小さな刺し子のコースターを作ることから始めたこの倶楽部ですが、今ではさまざまなプログラムを、いろいろご用意できるまでに成長しました。応援して下さるご家族の皆様、笑顔で参加して下さるご利用者様、本当にありがとうございます。来年もより楽しいプログラムを用意して、有意義な倶楽部活動を行っていきたいと思います。

今回は、小さなクリスマスツリーを造花でアレンジメントするクリスマスプログラムをご用意しました。皆さん、かわいらしいツリーを仕上げて、お持ち帰りいただきました。

また裁縫組は刺し子と編物に分かれて取り組みました。新登場の編物に皆さん興味津々！ニット帽を編みます。

伊藤機能訓練指導員より

今回は、クリスマスツリーに見立てたフラワーアレンジメントに取り組んで頂き、皆さん華やかな雰囲気を味わうことが出来ました。メリークリスマス。

次回は全階利用者様対象で一月七日（水）二階青ユニットにて十五時より開催予定です。刺し子・編物・裁縫を行います。

手芸のコツ

一階に下りて作業するのが困難な方もいらっしゃいます。知らない人がいっぱいいるところには行きたくないという方もいます。そこで試験的に、ひとり分の造花フラワーアレンジメントの材料を用意し、そこのユニット職員に託してみました。ご利用者様の体調の良い時で、何かしてみたいというタイミングを理解できるのは、常に寄り添っているユニットの職員だからです。

託してみたら大成功で、ご利用者様が、楽しみながらクリスマスツリーを作ることが出来ました。他にもそのような方がいらっしゃいましたら、伊藤機能訓練指導員までご相談ください。

新メニュー紹介

次回七日は、裁縫のみを行い、一月十三日に、造花フラワーアレンジメント作りを開催します。

実は、参加者が増えて場所が狭くなったこともあり、来年からは次のようなスケジュールで開催予定です。

造花フラワーアレンジメントは、第二火曜日に一階地域交流室で行います。

もう一つの「裁縫」は、月二回、第一・第三水曜日に、二階青ユニットで開催する事になりました。

裁縫は、ユニット内のスペースで、木のテーブルを囲みながら、和気藹々としたいと思い、場所をフロアに移します。また、フラワーアレンジと日にちをずらすことで、職員がじっくりと裁縫にお付き合いすることができるようになると思います。それに、裁縫は仕上げるのに時間がかかるため、月二回の開催を予定します。造花フラワーアレンジメントは今まで通り月一度、地域交流室で開催します。お楽しみに。

編集後記：次回は初めて紙粘土を使った花器を作ってみようと考えています。というわけで、私も子供の時以来触ったことのない紙粘土と悪戦苦闘しサンプル作成。なんとかそれらしき花器が完成！来年の干支にちなんで羊の顔をつけてみたのですが、ご利用者様からも大好評！お正月、居室にお花を飾ってみませんか？簡単に作れるので、一月十三日はぜひ多くの方に参加して頂きたいです。あと土台になるジャムの瓶（小さめ・蓋なし）の寄付募集中です。